

「あふれる笑顔 幸せのまち大東づくり」に向けた まちづくりの「見立て」と「現実化」

東坂浩一市長メッセージ（施政方針要約）

「見立て」と「現実化」で社会に新たな価値観を

約3年前から新型コロナウイルス感染症が拡大し、私たちの日常生活にはさまざまな制限がかかりました。そのことは多くの人々にこれまでの社会の仕組みや価値観について改めて問い直すきっかけとなりました。社会全体が変化に向けて大きく動きだしている今こそ、**新しい価値観を生み出し社会に広げるチャンス**です。

そのためには、「見立て」を「現実化」することが必要だと考えています。

ここで言う「見立て」とは、医師が診察する際に、

その症状から病気を見立てる、といった場面で使われる「見立て」に近いものがありますが、意味合いはもっと深く、理想とするまちの姿の実現に向けて、これまでの発想にとらわれないさまざまな切り口で物事を見つめ直し、着実に歩いていく道筋を見極めることを意図しています。

本市の行政サービスなども、多角的に見つめ直すことで、新たな発想や価値の転換が生まれます。それを「見立て」、「現実化」することが私のめざすまちづくりです。

「自律」「分散」「連携」によるまちづくり

私はこれまで、「公民連携」「住民自治」「DX」の3つの発想を柱として、地域の課題を解決する「見立て」とその「現実化」を進めてまいりました。この三つの柱に共通する価値観は、まるで小さな魚であっても大群になることで大きな魚を圧倒するように、人や企業などさまざまな主体が、それぞれ「自律」し、時に「分散」し、時に「連携」することでさらに大きな力を発揮するという、「自律」「分散」「連携」によるまちづくりです。

まちづくりの基本理念として掲げる「あふれる笑顔 幸せのまち大東づくり」も、一人ひとりの笑顔が確立され、周囲の人の笑顔に連鎖し、地域全体へと幸せが広がるイメージであり、「自律」「分散」「連携」の価値観に通じています。今後も、時代の変化を見定めながらさまざまな「見立て」を行い、信念を持って「現実化」することで、

本市に関わる一人ひとりが主役となり、希望や喜びを実感しながら暮らし続けられる、「笑顔と幸せがあふれるまちづくり」を力強く推進してまいります。





ネウボランドだいとう 3つのギフトと支援



ネウボランドだいとうでは、妊娠・出産から子どもが18歳になるまでの子育てにかかる伴走型の相談支援と経済支援を合わせて実施し、一人ひとりに寄り添います。

子育てスマイルサポート券

合計1万円以上!

子育てニコニコ券	500円券×10枚	育児用品の購入やタクシー利用などに使えます
子育てワクワク券	500円券×10枚	一時保育や家事支援、音楽教室などに使えます
子育てあんしん券	北河内こども夜間救急センターへのタクシー利用に使えます(午後8時以降の片道のみ)	

詳しくはこちら



さらに第2子は2万円分を追加。第3子以降は4万円分を追加します。

ネウボラ+ギフト

あわせて現金10万円

妊娠時	妊娠出産応援ギフト	現金5万円	妊娠届時の面談後に申し込みます
出産時	子育て応援ギフト	現金5万円	はろーベビィ訪問後に申し込みます

詳しくはこちら



入学スタートギフト事業

5歳児アンケートに回答すると、新生活に役立つグッズをプレゼントします。また、アンケートの回答内容に応じてネウボラスタッフがサポートします。



伴走型の相談支援

助産師・保健師・保育士・臨床心理士・ソーシャルワーカーが、妊娠期から子どもが18歳に成長するまで、親子の心や体の変化などさまざまな不安や悩みに寄り添います。



■ 学校給食の無償化

令和5年度の1学期間、市立小・中学校の学校給食を無償化します。(6ページに関連記事あり)



■ 子ども医療費助成の拡充

対象年齢を満15歳年度末から満18歳年度末(18歳に達した日以後の最初の3月31日)までに引き上げます。

■ 公民連携スクールの実現

個性あふれる子どもが、自分のペースで学べる公民連携スクールの実現に向けて、フォーラムなどを開催します。



■ 欠席連絡の電子化

学校の欠席連絡を電子化し、保護者の皆さんの負担を軽減します。

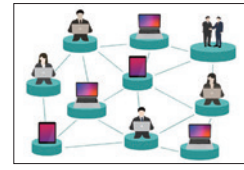


1 産業振興

1社1社、1人ひとりのチャレンジを応援！
あらゆる連携を応援！

大東市版ブロックチェーンの構築

- 各企業が培ってきたノウハウや人材などを結束させる仕組み（大東市版ブロックチェーン）を構築し、個々の企業だけでは対応できなかった問題を解決することや、より大きなビジネスへのチャレンジが可能となる環境を整備



大東市版ブロックチェーンのイメージ

起業支援

- 大東ビジネス創造センター（D-Biz）などで起業相談窓口の設置や、セミナーを開催

市内企業のDX推進

- 企業の強みをインターネットで公開し、技術革新やビジネスのマッチングにつなげる取り組みを実施

2 教育・人材育成

「個」の能力や可能性をもっと伸ばす！
個別最適な学びの環境に！

教育のDX

- 全ての小・中学校でAI型デジタルドリルを導入し、一人ひとりに応じた効果的な学習を実施
- 学校授業の様子をAIで分析し、より良い授業づくりに生かす



AI分析のイメージ

学びの選択肢の拡充

- 小学校と中学校を1つの施設にまとめて一体的な学びを実現する、義務教育学校などの設立を検討

子どもから大人まで学べる場

- 子どもから大人までが主体的に本市のまちづくりに関わりながら学習する「大東未来キャンパス構想」を検討

3 都市整備

魅力的な資源をもっと魅力的に！
誰もが快適に移動できるまちに！

歴史・文化資源の魅力最大化

- 飯盛城跡や平野屋新田会所跡の保存を進めるとともに、講演会や気軽に参加できるイベントを実施

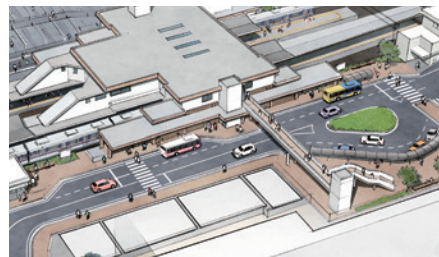


交通環境の改善

- 本市が運行するコミュニティバス、乗合タクシーや民間事業者が運行する公共交通など、本市全域の交通体系の見直しを検討
- 鉄道の連続立体交差化について引き続き検討
- 道路や施設などハード面のバリアフリー化、人材・意識などソフト面のバリアフリー化を推進

3駅周辺の魅力創出とJR四条畷駅周辺整備

- JR野崎駅の西側および東側の駅前広場整備を実施
- 嵯峨園第1、2住宅のリニューアルに向け、北条まちづくりプロジェクト第Ⅱ期構想の取り組みを推進
- JR四条畷駅東側のペDESTリアンデッキの整備などに着手



JR四条畷駅東側の完成イメージ

1 生活基盤強化

防災・減災対策

- 精度の高い災害情報の提供を行う防災アプリの普及促進
- 円滑な災害対応を可能にする防災支援システムを活用した防災訓練の実施
- 備蓄物資の充実と、誰もが安心して避難できる環境の整備



身近な治安維持

- 市が直接管理する街頭防犯カメラを新たに整備

物価高騰対策

- マイナンバーカードを取得し、公金受取口座を登録した人に3千円を支給

安心できる住まいの確保

- 野崎エリア全体のまちづくりと絡めて深野園住宅の建て替えを検討
- 重度障害者グループホームなどの開設などに係る支援制度を充実

ゼロカーボンシティ^{※1}の実現

- 2050年のゼロカーボンシティの実現をめざした温暖化防止対策実行計画の策定

2 健康増進

病気の予防と早期発見

- がん検診の休日検診実施体制の拡充や、自己負担金の無償化
- 本市独自に令和5年度分の国民健康保険料を減額

社会参画の推進

- 交流や就労など幅広い選択肢につながる「66歳地域デビュー応援事業」を実施
- 高齢者自身も地域を支える担い手となる「生活サポート事業」を引き続き推進

いつまでも安心して暮らせる環境整備

- 「大東元気でまっせ体操」の取り組みを継続支援



- 「大東市ハローライト事業」を本格導入
- 迷い人を見つけられるGPS^{※2}発信機能付きIoT機器^{※3}の購入に対する支援

3 行政運営のアップデート

市政運営体制の強化

- 根拠に基づいた効果的な政策を立てるため、情報収集力、データ活用力など職員能力のアップデート
- 将来的な行政サービスを見据えた庁舎のあり方を検討

行政手続のオンライン化

- オンライン申請手続きに係るキャッシュレス決済を導入
- 大東市公式LINEの機能を拡充
- デジタルディバイド^{※4}対策を推進



用語解説

- ※1 ゼロカーボンシティ … 2050年までにCO₂の排出量を実質ゼロにすることをめざす自治体
- ※2 GPS … 人工衛星(GPS衛星)から発せられた電波を受信し、現在位置を特定する技術
- ※3 IoT機器 … インターネットに接続されたあらゆるモノのこと
- ※4 デジタルディバイド … インターネットやコンピューターを使える人と使えない人との間に生じる格差